山鹿市中体研

理事長　丸山　喜寛

１　はじめに

山鹿市は、松永会長（米野岳中学校長）を中心に、６校１６名の保健体育担当で研究を進めている。授業、生徒指導、校務、部活動など毎日多忙ではあるが、日頃の授業の質を高めるために、「学習内容の明確化」「学び合いの充実」「振り返りの時間の確保」をキーワードとして捉え、生徒たちが自主的に学習に取り組んでいくような姿を追求している。

山鹿市は少ない会員であるが、指導経験豊富な先生方の力を集結して、そのノウハウを共有化できるような取組と、山鹿型授業（山鹿スタイル）の確立を推進できればと考えているところである。

２　研究テーマ

（１）研究テーマ

『学び合いの中で学習意欲を高め、自主的に保健学習に取り組む生徒の育成』

～山鹿型授業の確立を目指して～

（２）本年度研究テーマの具現化に向けた努力点

①学習内容を明確にし、指導と評価の一体化を図る（山鹿型授業）

②学び合い、アクティブラーニングなどの学習形態の工夫により、自ら学ぶ姿勢を育てる

③体力の向上（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）を図り、仲間とかかわり合うチームワーク、連帯感等を味わうことができる授業展開の工夫

④県・郡市と連携を図った研究の推進

⑤次期学習指導要領完全実施に伴う研修

⑥各種研究大会・実技研修への積極的参加体制の確立

３　研究組織

○会　　長	松永　博文	（米野岳）	○副理事長	西浦　伸一	（鹿　北）
○理 事 長	丸山　喜寛	（鹿　本）	○研究理事	内田　正典	（山　鹿）

４　活動状況

（１）【５月６日（金）　山鹿市教育会研究会　半日研修（山鹿小学校）】

①前年度の反省　②役員選出　③市研究テーマ、サブテーマの検討　④年間計画作成

（２）【７月２５日（月）　山鹿市教育会夏季研修会　終日研修（米野岳中学校）】

午前：講師招聘　（講師：ＦＦＣ熊本　西岡　学　様）

「頑張る体育教師へ」（食生活と健康について）

午後：実技研修　（講師：鹿北中学校　那須　法寿　教諭

「体つくり運動の有効な活用方法」

・１学期の授業実践の情報交換会

・データーベースの分析と活用方法の検討

（３）【１０月６日（木）　山鹿市教育会研究会　半日研修　（山鹿中学校）】

①公開授業

単　　元　　「E　球技」　ア　ゴール型　ハンドボール

授 業 者　　内田　正典　教諭（山鹿中学校）

②授業研究会　（山鹿型授業の検証）

（４）【１１月１７日（木）～１８日（金）九州学校体育研究発表大会（沖縄大会）視察研修】

（５）【１１月２５日（金）熊本県学校体育研究発表大会への参加（１０名参加）】

（６）【１月２２日（金）　山鹿市教育会研究会　半日研修　（米野岳中学校）】

研修１「今年度の反省と次年度への志向」

・今年度の取組の振り返り　・県学体研報道

・次年度への志向

研修２「班別協議～アクティブラーニングの授業改善～」

・共通課題・共通実践していくことの検討

・授業つくり（略案作成）

○中体連等より今後の連絡と共通実践事項の確認

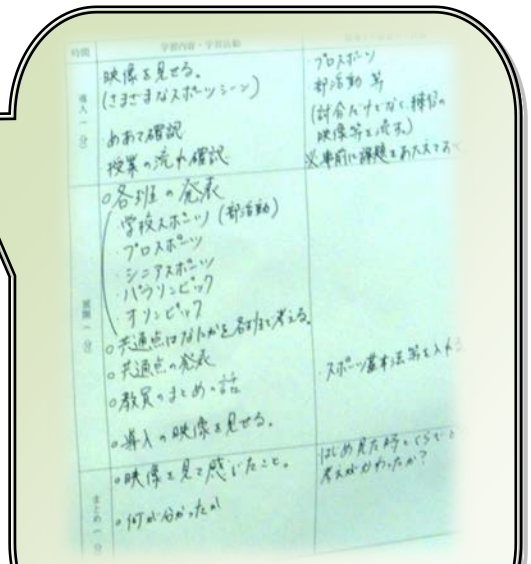
５　研究の概要

（１）研究授業（山鹿型授業の検証）

山鹿市６校全ての学校でハンドボールを履修しており、山鹿型授業の一つのモデルとして研究授業を行った。それぞれの学校での実践と照らし合わせて研究協議を行うことができた。地域密着型のスポーツとしても大きな意義を持っており、改めてハンドボールの良さに気づくことができた。

（２）班別協議～アクティブラーニングの授業改善～

現在の研究テーマに沿って研究を進めて４年目になる。色々な場面で、「学び合い」とは何か、体育における「学び合い」とは何かを考えながら研修を行うことができた。アクティブラーニングの視点から、互いの実践を振り返りながら授業改善に努めることができた。



＜班別協議で作成した略案＞

６　まとめ

保健体育科の教師は、保健体育科のプロである。そこに専門種目はない。プロである以上全ての領域にとってのプロである。体育分野だけに限らず、保健分野にも同じことが言えることを再確認する必要がある。保健体育科としてのプロ意識を持って、各学校での実践を積み重ね、よりより山鹿型授業を創っていきたい。